

2026年度（令和8年度）

院友子弟等特別選考入学試験要項

◎試験当日は、この「入学試験要項」を必ず持参してください。

文 学 部
神道文化学部
法 学 部
経 済 学 部
人間開発学部
観光まちづくり学部

もっと日本を。もっと世界へ。



〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

総合企画部入学課

☎ 03-5466-0141

www.kokugakuin.ac.jp

大規模災害等、不測の事態により、やむを得ず、入学試験実施（出願要件・試験日程・試験内容等）について変更する可能性があります。変更が生じた場合は、大学ホームページにて随時公表いたしますので、出願にあたっては、必ず大学ホームページにて最新情報をご確認ください。また、出願開始後に変更が生じた場合は、当該出願者に対しEメールまたは郵送にて通知いたします。

入試情報に関する変更は、こちら（大学ホームページ）からご確認ください。



目 次

1.	アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	1
2.	募集人員・出願資格等	9
3.	実施スケジュール	11
4.	受験から入学手続まで	12
5.	選考方法	14
6.	受験上の配慮について	25
7.	第1次出願書類	26
8.	入学志願票記入例	30
9.	学費等納付金	32
10.	入学前学習講座	33

【出願にあたっての注意事項】

1. 出願資格・受付期間・試験科目等について、事前に熟読してください。
2. 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願する30日前までに必ず入学課にご相談ください。
詳細につきましては、P.25をご参照ください。

【提出書類の確認について】

調査書・推薦書・証明書等については、記載内容の確認のため、大学から発行元の団体・機関等へ連絡をさせていただきます場合があります。

【個人情報の取り扱いについて】

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。出願書類等に記載された個人情報は、下記の利用目的の範囲内において利用し、本人の同意の無い第三者への提供はいたしません。

なお、取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は、学校法人國學院大學個人情報の保護に関する規程、ならびに國學院大學個人情報の保護に関する規程(<https://www.kokugakuin.ac.jp/about/efforts/p17>)に従い、適切に管理します。

利用目的	入学試験の実施および実施に伴う各種通知、入学手続に関する諸連絡、入学予定者への各種案内の送付、本学 学校法人の國學院大學北海道短期大学の案内書類送付 ※上記のほか、出願時に取得した情報（氏名、受験番号、生年月日、高等学校等コード、高等学校名、志願する入試制度、志望学部学科、調査書記載の学習成績の状況、検定・試験の成績）および入試成績情報を用いて、以下の分析等を行う場合があります。 (1) 高等学校・志望学部学科等、出願者の属性による入試成績状況の把握 (2) 入学後の成績や履修状況と照合・分析し、入試時の状況と入学後の学修状況との関連性を把握 (3) 卒業後の進路情報と照合・分析し、入試時の状況と進路状況の関連性を把握 (4) 入学手続時に取得する情報（入学手続の有無、入学辞退時の進学先）と照合・分析し、本学出願者の進学動向を把握
データ項目	(1) 入学志願票に記入もしくは添付された項目 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、生年月日、国籍、出身学校（高等学校等・大学・短期大学（学士入学・編入学のみ））および卒業（見込）年月、志願する入試制度・学科（専攻）、大学入学共通テスト試験成績請求No、日本留学試験受験番号、写真 (2) 調査書、高等学校卒業程度認定試験合格証明書、各種検定・試験の合格証明書・成績（スコア）証明書等に記載されている項目 住所、氏名、生年月日、性別、学習成績の状況、担任による評価、検定・試験の成績および受検年月日
保管期間	10年間

國學院大學における個人情報の利用目的については下記の URL を参照してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/privacy/p2>

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

※アドミッション・ポリシー（以下、「AP」）については、大学ホームページでもご確認ください。

文学部

【日本文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本の文学・言語・文化を研究したいという意欲を持ち、古典語を含む日本語と日本文化の基礎的な学力を備えている者。
- ・自ら問題を発見し、資料を収集・整理・分析して自分の考えをまとめ、文章で表現できる能力と姿勢を身につける意欲を持つ者。
- ・日本の文学・言語・文化の研究を通して新たな文化創造に参画し、社会に積極的に働きかけ貢献できる者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 国語（古文・漢文を含む）を中心に、日本文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 自らの知識・技能に基づいて問題を発見し、物事を論理的・客観的に考え整理・分析する力と、それを自らの言葉で表現する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 日本の文学・言語・文化の学修・研究に強い意欲を持ち、将来において社会に発信する主体となるために、積極的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			志望理由書で本学科への志向性を、レポートで大学の講義を理解する能力を備えているかを、筆記試験で大学の学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。活動レポートは、主体性を持ち他者と協働して学ぶ態度の評価に使用します。
志望理由書			○	
活動レポート			○	
課題図書に基づくレポート		◎		
筆記試験	◎	◎		
面接試験	○		○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を含む）」「古典探究」「文学国語」およびそれに相当する科目を履修していることが望まれます。

【中国文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本における中国古典の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・日本における中国近現代文学の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国語の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国文化の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・教職を目指しての専門分野の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 国語（古文・漢文を含む）を中心に、中国文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 知識・技能に基づいて、論理的に考え、自主的に判断し、それを正確に表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 中国の文学や文化に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある院友（本学卒業生等）の子弟等を受け入れます。
志望理由書		○	◎	
活動レポート	○	○	○	
課題図書に基づくレポート	○	◎		
授業レポート	○	◎		
面接試験	○	○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに、「言語文化」「古典探究」で古文・漢文の基礎をしっかりと身につけ、「歴史総合」および「世界史探究」では、特に中国の歴史・文化とわが国との関係について、十分な知識を身につけていることが望まれます。

【外国語文化学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・英語および選択必修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語のうち一言語）を使えるようになりたいという意欲をもつ者。
- ・英語、ドイツ語、フランス語、中国語を話す地域を中心に、世界各地の文化や習慣を知り、知識の幅を広げたいという意欲がある者。
- ・日本と世界各地のさまざまな言語・文化を照らし合わせながら、グローバル社会における日本文化の発信にかかわろうとする意欲がある者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 外国語、国語を中心に、外国語文化学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 自分の知識・技能を適切に組み合わせて、論理的に考え、答えを導き出し、表現する能力をもっているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 自発的に学び、多様な価値観をもつ人々と積極的に協力する姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			院友子弟等で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。
志望理由書		◎	○	
活動レポート		○	◎	
課題図書に基づくレポート	○	◎		
資格・検定試験の成績	◎			
面接試験	◎	◎	○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「現代の国語」「言語文化（近代以降の文章）」を身につけ、さらに「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」から一つ以上の教科を学んでおくことが望まれます。

以上に加えて、実用英語技能検定（英検）2級以上（CSE2.0：1,980以上）、TOEIC[®]L & R 500点以上を獲得できる英語能力を持つことが望まれます。

【史学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本や世界の歴史に関心を持ち、さらに専門的な知識を学んで理解を深めたい者。

- ・歴史資料の調査や研究方法を学び、歴史研究の発信や文化財の保護・活用にかかわりたいという意欲がある者。
- ・歴史上の諸問題に関心を持ち、さまざまな価値観を持つ人々と協力しながら、新しい社会を創造していこうとする意志を持つ者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 地理歴史、国語、英語を中心に、史学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 物事を論理的・客観的に考える力があり、それらを自分の言葉で発信する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観（歴史地理）分野の学修・研究に強い関心を持ち、かつ主体的に学ぶ姿勢を備えているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			建学の精神を理解し、本学科での修学に意欲的な院友子弟等を受け入れます。
志望理由書		○	◎	
活動レポート			◎	
課題図書に基づくレポート	○	◎		
論述試験	◎	○		
面接試験			◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」から一つ以上を学んでおくことが望まれます。さらに、「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を含む）」「古典探究」「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」およびそれに相当する教科について、基礎学力を身につけておくことが望まれます。

【哲学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- ・哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。
- ・文献を読解し、渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 現代文、英語を中心に、哲学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を習得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 自分の知識・技能に基づいて、論理的に考え、自ら判断し、それを表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 哲学（哲学・倫理学や美学・芸術学分野）に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ全国の院友（本学卒業生等）子弟等を受け入れます。
志望理由書		○	◎	
活動レポート		○	○	
課題図書に基づくレポート	○	◎		
課題図書に基づく小論文試験	◎	○		
面接試験		○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「現代の国語」「言語文化(近代以降の文章)」「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を身につけ、さらに「倫理」「公共」「政治経済」「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」「美術Ⅰ」「音楽Ⅰ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」およびそれに相当する教科を一つ以上履修していることが望まれます。

神道文化学部

【神道文化学科】

◎求める人材、期待される入学者像

國學院大學神道文化学部は、神道を中心とする日本文化への高い関心と、国内外の宗教文化を広く学ぼうとする意欲とを持ち、宗教・文化の継承者として、人々の共存や社会の発展に寄与しようとする人材を受け入れます。具体的には、次のような意欲・意志を持って、学びの成果を社会に活かそうとしている人材を求めています。

- (1) 神道の歴史・思想を学ぶ意欲を持つ者
- (2) 神道の社会的実践・社会貢献について学ぶ意欲を持つ者
- (3) 日本の伝統文化を深く学ぶ意欲を持つ者
- (4) 世界の宗教文化を広く学ぶ意欲を持つ者
- (5) 神社や神道系宗教団体の後継者として専門的な学びを志す者
- (6) 現代社会の文化と宗教との関係について広く学ぶ意欲を持つ者

◎入学者選考の観点

人材受け入れのため、次の観点から受験生を選考します。

- (AP1) 神道を中心とする日本文化や国内外の宗教文化(以下「神道文化・宗教文化」)に関わる授業を履修するために必要となる高等学校卒業相当の知識と文章表現のための技能を身につけているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 他者の考えを的確に理解し、自らの考えを理論的かつ簡潔にまとめ、ことばで正確に表現できる能力を有しているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 神道文化・宗教文化を幅広く学ぼうとする意欲を持っているか。また、神道文化・宗教文化の学びの成果を活かして、社会への貢献を目指す意志を持っているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法		AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
1次選考	調査書	◎	○	○	神道文化学部での学修に必要な総合的な学力を持つ受験生を選考します。 志望理由書・面接試験等では、主に神道文化・宗教文化を学ぶ態度を問います。 筆記試験では、主に神道・宗教に関する文章の読解・思考力・表現力のための技能を問います。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	◎	
	英語検定試験	◎			
課題図書に基づくレポート	◎	○			
2次選考	筆記試験	○	◎		
	面接試験		○	◎	

◎入学までに身に付けるべき教科・科目

神道文化学部に入学者には、入学後の教育内容との関係上、「国語」「地理歴史」「公民」「外国語(英語)」の学習を求めます。

法学部

【法律学科（法律専攻・政治専攻）】

法学部は、法律学・政治学に関する知識・理論を理解し、これらを活用して価値観の多様化する現代社会に主体的に参画し、社会の様々な分野で活躍できる人間を育成します。このため本学部は、本学部で法律学・政治学の研鑽に努めることに強い意欲を有し、本学部の教育課程を通じて培った専門的知識や能力を活かして、社会に主体的に参画したいと考える学生を受け入れます。

◎求める人材、期待される入学者像

法律専攻では、とくに次のような人材を求めています。

・法や政治に関心を有し、社会の様々な分野で活躍したいという意欲がある者

政治専攻では、とくに次のような人材を求めています。

・政治に関心を有し、将来政治に関する職業に就くことを目指す者、または、「よき市民」として政治に積極的に関わる意欲を持つ者

◎入学者選考の観点

- (AP1) 本学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の基礎学力を備える者〈知識・技能〉
- (AP2) 社会的な事象に対して問題意識を持ち、情報を収集・整理・分析し、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持つ者〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 教科外の活動に取り組み、その中でコミュニケーション能力などを培ってきた者〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書			○	法律学、政治学に強い関心を持ち、その勉強に積極的・自発的に取り組み、学ぶ意欲がある院友子弟等を選考します。 ・法律専攻・政治専攻のみ募集
志望理由書		○	○	
課題図書に基づくレポート		○		
エントリーシート		○	○	
レポート（ALT型）		○		
自己アピール		○	○	
面接試験		○	○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学後の教育内容との関係で、本学部の入学者には、入学までに、「国語」「外国語」「地理歴史」「公民」、基礎的な「数学」、基礎的な「理科」の学習を求めます。

経済学部

◎求める人材、期待される入学者像

経済学部は、経済と経営に関する教育を主軸に、主体的に人生を切り拓き、自ら選んだ分野で社会に貢献できる人材を育成します。このことを踏まえて本学部では、次の能力・資質・態度に優れた者を受け入れます。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 「英語」「国語」「数学」「地理歴史」「公民」を中心に、経済学部で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を備える者。〈知識・技能〉
- (AP2) 各自の問題関心に基づき、情報を収集・分析し、論理的に考え、自らの主張について根拠を示しながら表現できる能力を持つ者。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 他者と積極的に交流し、新しい知識や経験に対して主体的に学修する強い意欲を持つ者。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			本学部・学科のアドミッション・ポリシー（AP）を理解し、本学部・学科での学修後の自らの社会人像を明確に持っている院友子弟等を受け入れます。
志望理由書		○	○	
活動レポート			○	
課題図書に基づくレポート	◎			
エントリーシート		○	○	
総合問題試験	○	◎		
資格・検定試験の成績	◎			
面接試験		○	◎	

(AP1) 知識・技能

(AP2) 思考力・判断力・表現力

(AP3) 主体性・意欲・志向性

◎入学までに身につけるべき教科・科目

「外国語」「政治・経済」「歴史総合」「地理総合」「数学」

【経済学科】

経済学科は、日本と世界の経済に関心と学修意欲を持ち、将来、企業や公務員を含むさまざまな分野で個性豊かに活躍することを目標とする、以下のような人材を求めています。

- ・経済理論を真摯に学び、仮説を立て、データを駆使して経済問題を分析したい者。
- ・数学的思考力を経済学の学修に生かし、向上させたい者。
- ・歴史的なアプローチにより、現代の経済問題を把握し、また分析したい者。
- ・現地調査の能力を高めて、地域経済の実態を分析し、より良いあり方を提示したい者。
- ・日本経済の発展要因と課題を理解し、将来に向けた政策を考察したい者。
- ・グローバルな視点で日本や地域の経済を意識しながら、世界経済の現状と課題を考察したい者。

【経営学科】

経営学科は、企業の経営・会計に関心と学修意欲を持ち、市場・組織・戦略に関する学習・研究を通じて、以下のような能力を磨き、将来社会で活躍できる人材を求めています。

- ・実践力と経営スキルを磨いて、企業などの組織の中で、ビジネスリーダーとして活躍したい者。
- ・創造力と課題解決力を磨いて、新たなビジネスに挑戦する企業経営者、起業家、事業承継者などとして活躍したい者。
- ・分析力と論理的思考力を磨いて、会計士、税理士、コンサルタントなどとして、あるいは金融にかかわる業務で活躍したい者。

人間開発学部

人間開発学部では、自らの資質・能力の向上と人間力育成を求めるとともに、教育者・指導者に強い志向性を有することが求められます。そのための基礎学力を持ち、自ら学ぼうとする学習意欲を保持し、十分なコミュニケーション力を有してそれをより高めようとする学生を受け入れます。

心身の発達に関する教養を総合的に身につけていくため、幅広い分野に関心を持って学んできており、さらに、今後の学生生活・卒業後の進路について展望を持っている学生を受け入れます。

◎求める人材、期待される入学者像

【初等教育学科】

初等教育学科では、日本の教育への関心と理解があり、教育の諸領域における各種問題に関する専門的な知識や技能の修得を目指して、「教育の専門家」を志す意欲の高い学生を受け入れます。

【健康体育学科】

健康体育学科では、身体運動や身体諸機能への関心と理解があり、健康の維持増進のあり方と多様なスポーツに関する専門的な知識や技能の修得を目指して、様々なライフステージでの健康・体育分野への寄与を志す意欲の高い学生を受け入れます。

【子ども支援学科】

子ども支援学科では、幼児教育・保育への関心と理解があり、幼児教育・保育の諸領域における現代的課題に応じた専門的な知識や技能の修得を目指して、「子どもの育ちと子育てを支援する専門家」を志す意欲の高い学生を受け入れます。

◎入学者選考の観点

- (AP 1) 知識・技能
- (AP 2) 思考力・判断力・表現力
- (AP 3) 主体性・意欲・志向性

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書		○	○	「人間開発」に強い関心を持ち、本学部・学科への志向性が高い者を求めている。全国の院友（本学卒業生等）子弟等からの受験生に対して、レポート、小論文、面接、実技（子ども支援学科のみ）による試験を行います。
レポート	◎	◎	○	
エントリーシート		○	○	
活動報告書・添付資料	○		○	
小論文試験	◎	◎	○	
面接試験		○	◎	
実技 (子ども支援学科のみ)	○	◎	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

教師や指導者になるためには、幅広い分野に関心を持って学ぶ姿勢が必要です。そのための基本的な能力は言語力であり、「国語」や「外国語」の修得はもちろんのこと、「数学」や「理科」など得意な教科・科目があればさらに望ましいです。

日常生活の中において学習する習慣をつけていることが大切であり、本学部で学修する上で、高校での修学以外に、次にあげるいずれかの能力検定試験相当の学力をもつことが望まれます。

- ・日本漢字能力検定：準2級以上
- ・日本語検定：3級以上
- ・実用英語技能検定：準2級以上
- ・歴史能力検定（世界史または日本史）：3級以上
- ・実用数学技能検定：準2級以上
- ・理検STEP：2級以上など、高校中級以上のレベル

観光まちづくり学部

【観光まちづくり学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・観光・交流を通じた持続可能な地域の形成や振興に関する学問的な基礎を学びたいという意欲がある者。
- ・上記の学問的な基礎をもとに、地域社会の再生、活性化及びまちづくりに貢献したいという意欲がある者。
- ・既存分野の壁を越えて能動的に学ぶ向上心を保持し、積極的に地域に働きかけようという意欲がある者。

◎入学者選考の観点

(AP1) 本学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の基礎学力を備えているか。

〈知識・技能〉

(AP2) 地域社会やその持続可能性に対して問題意識を持ち、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉

(AP3) 自身の興味・関心にしたがい、主体的に活動に取り組み、またはその成果について第三者からの評価を得ているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎		○	院友子弟を対象とし、観光まちづくり学部での学修に必要な能力・資質と意欲を持つ受験生を総合的に選考します。
志望理由書		◎	○	
活動レポート		○	◎	
課題図書に基づくレポート	◎	○		
地域分析レポート	◎	◎		
解決策提案シート	○	◎		
面接試験		◎	○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

「国語」「数学」「外国語（「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」を中心とした基礎学力を前提に、「地理歴史」「公民」「理科」の中から幅広く学習していること。

2. 募集人員・出願資格等

(1) 募集人員

学 部	学 科	コース・専攻	募集人員 ^{※1}
文学部	日本文学科		4名
	中国文学科		2名
	外国語文化学科		2名
	史学科		2名
	哲学科		1名
神道文化学部	神道文化学科		2名
法学部	法律学科	法律専攻	3名
		政治専攻	1名
経済学部	経済学科		5名
	経営学科		5名
人間開発学部	初等教育学科		2名
	健康体育学科		2名
	子ども支援学科		1名
観光まちづくり学部	観光まちづくり学科		5名

※1 出願状況および試験結果等により、合格者が募集人員を下回る場合があります。

(2) 趣 旨

この特別選考入学試験制度では、國學院大學への入学を強く希望し、勉学・研究に高い意欲を持つ、全国の院友子弟等を迎え入れることを目的とする。

(3) 出願資格

以下の①～⑧のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者、および令和8年3月卒業見込みの者。
- ② 高等専門学校3年次を修了した者、および令和8年3月修了見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および令和8年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の課程を修了した者、および令和8年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、またその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者、および令和8年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑥ 文部科学大臣が指定した者。
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定試験に合格した者を含む）、および令和8年3月31日までに合格見込みの者で令和8年3月31日までに18歳に達する者。
- ⑧ 本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者。

(4) 出願要件

- (1) 國學院大學院友会の会員 [本学 (大学院・専攻科・別科・幼児教育専門学校等を含む) の卒業・修了者、または本学・法人・姉妹法人の現職専任教職員など] の二親等以内の親族 (配偶者・姻族含む) であること。なお、出願資格の確認は提出書類に基づいて大学が行う。
- (2) 本学への入学を第1希望 (単願) とする者。
- (3) 文学部外国語文化学科・経済学部のみ英語検定試験でCEFR A2以上のスコアを持つ者。スコアの詳細はP.28を参照のこと。
- (4) 神道文化学部のみ英語検定試験でのスコア (CEFRレベルに対照可能なものに限る) を持つ者 (CEFRレベル不問)。スコアの詳細はP.28を参照のこと。

※出願資格等で不明な点がある場合は、必ず入学課(03-5466-0141)までお問い合わせください。確認には時間を要するため、出願締切日までに出願資格の確認ができなかった場合は、出願を認めないことがあります。

(5) 併願について

本試験制度内における複数学科・専攻への出願は可能ですが、出願書類は志望学科・専攻それぞれに作成し、提出する必要があります (コピーの提出は不可)。ただし、第1次選考 (書類選考) の結果、複数学科・専攻に合格した場合は、**第2次選考への出願は1学科・専攻のみ**となります。なお、第2次選考において、複数学科・専攻へ出願した場合には、全ての第2次出願が無効となりますのでご注意ください。(試験日の異なる試験制度との併願は可能です)。

(6) 入学検定料
(第2次選考料)

35,000円

第2次出願時に入学検定料 (第2次選考料) を納入。**第1次出願時は納入不要**です。

※一度納入された入学検定料については、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。

3. 実施スケジュール

<p>第1次出願期間</p> <p>令和7年9月1日(月)～9月5日(金) (消印有効)</p>	<p>第1次出願に必要な書類の提出。 ※入学検定料の納入は不要です。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 入学志願票</p> <p>② 各種証明書(高等学校調査書等)</p> <p>① 関係を証明する書類(戸籍抄本等)</p> <p>② 出願資格を証明する書類(調査書等)</p> <p>③ 出願資格を証明する書類(資格・スコアを証明する書類)※1</p> <p>③ 【様式1】志望理由書</p> <p>④ 【様式2】課題図書に基づくレポート</p> <p>⑤ 【様式3】活動レポート・添付資料目録※2</p> <p>※1 文学部外国語文化学科、神道文化学部、経済学部への出願者のみ提出</p> <p>※2 文・神道文化・経済・観光まちづくり学部への出願者のみ提出</p> </div> <p>※詳細はP.26～27にてご確認ください。</p>			
<p>第1次選考(書類選考)合格発表日</p> <p>令和7年9月24日(水)</p>	<p>出願者全員に対し、本人宛に受験番号通知書を送付します。 なお、第1次選考合格者には『第2次出願要項』を公開します。</p>			
<p>第2次出願期間</p> <p>令和7年10月6日(月)～10月10日(金) (消印有効)</p>	<p>第2次出願に必要な書類の提出。 第1次選考合格者に公開する『第2次出願要項』に従って入学検定料(35,000円)を納入し、必要書類を大学へ提出してください。</p>			
<p>第2次選考(第1次選考合格者のみ)</p>				
<p>学部</p>	<p>試験日</p>	<p>会場</p>	<p>集合時刻</p>	<p>開始時刻</p>
<p>経済学部 神道文化学部</p>	<p>10月19日(日)</p>	<p>渋谷キャンパス</p>	<p>9:30</p>	<p>10:00</p>
<p>文学部 法学部</p>	<p>11月9日(日)</p>	<p>渋谷キャンパス</p>	<p>9:30</p>	<p>10:00</p>
<p>人間開発学部 観光まちづくり学部</p>		<p>横浜たまプラーザキャンパス</p>	<p>9:00</p>	<p>9:30</p>
<p>※試験内容は学部学科のページを参照すること。</p>				
<p>第2次選考合格発表日および入学手続期間</p>				
<p>学部</p>	<p>合格発表日</p>	<p>入学手続期間(消印有効)</p>		
<p>経済学部 神道文化学部</p>	<p>11月1日(土)</p>	<p>11月1日(土)～11月7日(金)</p>		
<p>文学部 法学部 人間開発学部 観光まちづくり学部</p>	<p>11月19日(水)</p>	<p>11月19日(水)～11月26日(水)</p>		

4. 受験から入学手続まで

(1) 受験に関する諸注意

①開門時刻	<p>集合時刻30分前</p> <p>※ <u>試験教室には集合時刻(試験開始時刻30分前)までに入室</u>してください。入場後は、試験が終了するまで場外に出ることはできません。</p>
②受験番号 通知書	<ul style="list-style-type: none"> ・出願された方全員に受験番号通知書を発送します。第1次選考合格発表日の3日前になっても受験番号通知書が届かない場合や、記載内容に誤りのある場合、また紛失や破損してしまった場合には、入学課(03-5466-0141)までお問い合わせください。 ・本学のシステムでは、一部の異体字(高・崎・凜・遥・熙など)が対象外となるため、受験番号通知書・合格通知等に表記できない場合があります。表記できない漢字については、字体の異なる同字で置き換えられるか、カタカナで表記されますのでご了承ください。 ・試験当日は必ず<u>受験番号通知書を持参</u>し、案内掲示板にて自分の受験番号を確認のうえ、該当の試験教室に入室してください。 ・受験番号はUCAROによる合否通知に必要となりますので大切に保管してください。
③遅刻	<p><u>遅刻は一切認めません</u>。指定された集合時刻に間に合わなかった場合、試験を受けることができません。なお、事故などによって交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。</p>
④試験時間 中の注意 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>時計は必ず持参してください</u>。ただし、辞書・電卓・計算・通信端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、学習タイマー、大型のものは使用できません。また、試験時間中は携帯電話など電子機器類の電源を必ず切ってください。 ・試験時間中に机の上に置けるものは、「筆記具(HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可)」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)」「メガネ」です。これら以外の所持品を使用または置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。 ・「定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型通信端末」「ICレコーダー」「スマートグラス」等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。 ・受験者は試験時間中に以下の物を使用することができます(ただし、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督者が確認する、または使用を認めないことがあります)。「座布団」「ひざかけ」「ティッシュペーパー」「目薬・点鼻薬」「シャープペンシルの替え芯」「ハンカチ・ハンドタオル」「マスク」 ※ 「ティッシュペーパー」は袋から、「シャープペンシルの替え芯」はケースから、中身のみを取り出したもののみ使用を認めます。 ※ 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。 ・英語や地図、和歌や格言等が印字されている服の着用や所持品の使用はできません。 ・試験教室からの入退室は、試験監督の指示に従ってください。不正行為をした者・試験監督の注意や指示に従わない者には退室を命じ、以降の受験は一切認めません。
⑤感染症に 関する 注意事項	<p>試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・風疹等)に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。</p> <p>また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理については十分注意してください。</p> <p>ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認められた際には、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として再試験などの措置や入学検定料の返還は行いません。</p>

⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> ・文学部（外国語文化学科は除く）・神道文化学部・経済学部・人間開発学部の面接試験は午後からとなりますので、<u>昼食を持参</u>してください。 ・上履きを持参する必要はありません。 ・試験教室の下見はできません。 ・試験会場へは公共の交通機関をご利用ください。自動車や自転車、バイク等での試験場構内への乗り入れはできません。 ・大規模災害等、不測の事態により、所定の日程通りに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期・再試験等の対応措置を取らざるを得ないことがあります。これらの対応措置を講ずる場合は、大学ホームページに掲載しますので、確認してください。（www.kokugakuin.ac.jp/admission）
------	--

(2) 評価方法について

出願書類ならびに各学科が指定する選考方法を用いて、アドミッション・ポリシーに基づき、学力を構成する特に重要な以下の三つの要素を多面的・総合的に評価します。

- ① 基礎的・基本的な知識・技能
- ② 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力
- ③ 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

(3) 合格発表について

第1次合格発表・最終合格発表とも、受験ポータルサイト「UCARO」にて合否通知を行います。確認する際に、受験番号と生年月日が必要となります。発表日の12:00より、下記のアドレスにアクセスしてください。電話による合否の問い合わせには一切応じません。

<合格発表専用 UCARO ホームページアドレス>

<https://www.ucaro.net/gouhi/304012A>



【第1次選考合格発表時】

第1次選考合格者には、第1次合格者発表画面にて『第2次出願要項』を公開します（郵送・大学窓口での交付はしません）。「誤操作」「見間違い」などを理由とした、第2次出願期間の延期は一切認めません。第2次出願に必要な書類等は『第2次出願要項』をご確認ください。

【最終合格発表時】

最終合格者に対しては、UCARO上の合格発表画面にて、入学手続に関する案内を行います。入学手続は、Web入学手続システムを通して行うものとし、大学から入学手続書類・合格通知書等の送付はいたしません。UCARO上の画面の指示に従って手続を行ってください。

なお、「誤操作」「見間違い」等を理由とした入学手続締め切り日を過ぎての入学手続は一切認めません。

5. 選考方法

(1) 第1次選考 (書類選考)

[全学部共通]

①志望理由書【様式1】(1,000字程度)

國學院大學を志望する理由について、何のために何を学びたいのかなど目的意識を明確にして簡潔にまとめること。

②課題図書に基づくレポート【様式2】

課題図書に基づき、下記内容でレポートを作成する。

令和8年度 院友子弟等特別選考 第1次選考レポート課題

次の本を読み、後の問いに答えなさい。

佐伯啓思著『自由とは何か』（講談社現代新書、2004年）

(1) 本書の前半部のうち、第2章「『なぜ人を殺してはならないのか』という問い」、第4章「援助交際と現代リベラリズム」を、1,000字以内で要約しなさい。

(2) 本書の後半部（第5章「リベラリズムの語られない前提」、第6章「『自由』と『義』」）で、これまで自らが考えていた「自由」と本書の該当箇所が述べる「自由」との違いについて、新たに発見したことも含めて、1,000字以内で述べなさい。

※なお、ネット上には「自由」に関する文章が多くみられるが、そのまま書き写したり、アイデアを剽窃したりする場合、大幅な減点となる。自ら考えたことを述べること。

③出願資格確認書【様式A】(P.26②-①参照)

④出願資格を証明する書類(P.26②-②参照)

[文・神道文化・経済・観光まちづくり学部のみ]

活動レポート・添付資料目録【様式3】(800字以内)

学内外問わず、過去3年間程度で主体的に取り組んだ活動を1つ選び、800字以内で記入すること。活動が団体によるものである場合は、本人の役割を明確にすること。

神道文化・経済・観光まちづくり学部においては、活動レポートに関連する資料の添付を認める。詳細はP.27で確認すること。

[文学部外国語文化学科、神道文化学部、経済学部経済学科・経営学科のみ]

英語検定試験 CEFR A2 以上のスコア証明書(P.26②-③参照)

※神道文化学部はCEFRレベル不問です(対照可能なスコアは必要)。

資格・スコアを証明する書類【様式B】を使用し、提出すること。

利用できる検定試験・証明書の種類等は、P.28を参照すること。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し、学科ごとに第2次選考を実施する。

文学部

[日本文学科]

①筆記試験(古文を読んだの論述、全体で1,000字程度、90分)

以下の3種の古語辞典のうち、紙に印刷された辞書を1冊のみ当日持ち込み可とします(但し、書名に「全訳」とあるものは不可)。電子辞書は不可。

『旺文社 古語辞典』(旺文社)、『ベネッセ古語辞典』(ベネッセ)、

『新明解 古語辞典』(三省堂)

② 面接試験（約20分）

大学での勉学・研究に対する目的意識・修学意欲などについての面接を行う（国語の基礎知識を含む）。

文学部 日本文学科 「選考のポイント」

①筆記試験

これから日本文学科で学んでいくために必要な、総合的な知的能力があるかを測る論述試験です。文章を読んで類推し想像する力と、自然な日本語の表現能力を重視します。

②面接試験

- ・第1次選考で提出された各書類の内容に基づいて、日本文学科での「学び」に対する意欲の強さを確認します。課題レポートの内容についても具体的に質問をします。さらに、日本語学・日本文学・伝承文学・書道への関心の高さや、高等学校卒業までに身につけているはずの国語の常識についても確認します。
- ・同時に、あなたが本当に日本文学科に合っているかという適性も確認します。適性というのは、何よりも読書が好きか、本当に文学が好きか、といったことです。
- ・面接では、その場で考えて答える自然な対話を高く評価します。無理に自分をアピールする必要はありません。ぜひ自然体で臨んでください。

[中国文学科]

① 授業の受講とレポート作成（120分）

授業（50分）を受け、授業内容に関するレポート（1,000字程度、70分）を作成する。

② 面接試験（約20分）

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

文学部 中国文学科 「選考のポイント」

①授業の受講とレポート作成

授業内容の要点を把握してまとめられているか、そこからさらに自分の考えを展開できているかが評価のポイントになります。要約や意見を、正しく論理的に表現する練習をするといいでしょう。

②面接試験

中国文学科への理解や志向性・意欲を確認します。志望理由や現時点・入学後の学びについて説明できるとともに、質問に対して自分の言葉でしっかり答えられるかが求められます。

[外国語文化学科]

① 面接試験（約20分）

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う（英語による質疑応答を含む）。

文学部 外国語文化学科 「選考のポイント」

面接試験には、英語による質疑応答が含まれています。自己紹介や入学後の学修計画、アピールしたいポイントなどを整理し、それらを日本語と英語で論理的かつわかりやすく説明できるよう、よく練習しておきましょう。ただし、準備してきた内容にばかり気をとられて質問をとり違えたりしないよう、落ち着いて臨むことも重要です。

[史学科]

① 論述試験（全体で1,000字程度の論述、90分）

英文・漢文・古文の文章題から1つを選び、与えられた課題について論述する。文章の内容を理解するとともに、その理解をもとに、自身の見解を論理的に述べる事が求められる。また、入学後の研究計画に関する論述も課す。

② 面接試験（約20分）

史学科への志望動機、入学後の学生生活の抱負などを問います。史学科で何を、どのように学びたいかを明確に述べるようにしてください。

文学部 史学科 「選考のポイント」

① 論述試験

出題された英文・漢文・古文をしっかりと読みこなし、内容を要約し(300～500字)、そのうえで、その内容について、自分の見解や意見を300～500字程度で論述します。出題文の内容が理解できなければ、自分の見解を書くことができませんので、英語・古文・漢文の読解力をつけておくことが必須です。さらに、要約する力、見解を明快に書く力、日本語表現力を磨く訓練も必要です。また、入学後の研究計画についても200字程度での説明を求めます。

② 面接試験

史学科への志望動機、入学後の学生生活の抱負などを問います。史学科で何を、どのように学びたいかを明確に述べるようにしてください。

[哲学科]

① 課題図書に基づく小論文試験（1,000字程度、90分）

あらかじめ次の課題図書2冊のうち1冊を選択して読んでいることを前提とした試験を行う。課題図書は、試験当日2冊とも持ち込み可とし、解答に使用する図書は問題を見た後で決定してよい。なお、図書に書き込みをすること、頁を折り曲げることは可とするが、別紙を持ち込むこと、付箋を貼ることは認められない。

課題図書

E.トウーгентハットほか『ぼくたちの倫理学教室』（平凡社新書）
伊藤亜紗『目の見えない人は世界をどう見ているのか』（光文社新書）

② 面接試験（約20分）

大学での学問・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

文学部 哲学科 「選考のポイント」

①小論文試験

課題図書の内容をふまえた論述問題が課されます。ただし、この試験は、問いの正解のようなものを課題図書の中から探す作業ではありません。第1次選考の「レポート」でのポイントに加えて、提示されている課題が「いかなる問い」を扱ったものであるかを正確に把握しているかどうかを見ます。

たとえば、過去に以下のような課題が出ています。

過去の例) プラトン著・藤沢令夫訳『メノン』(岩波文庫)

問 『メノン』の冒頭において、メノンはソクラテスに対して、徳は人に教えられて学ぶことのできるものであるか、それとも教えられて学ぶことはできずに訓練によって身につけられるものであるか、それともまた、学んでも訓練しても得られるものではなく生まれつきの素質によるものか、さらにまた、そのいずれでもない仕方によるものなのか、と問うている。あなたは『メノン』を読んで、「学び」の本質についてどのように考えたかを述べよ。(1,000字程度)

上記の例であれば、「徳は人に教えられて学ぶことのできるものであるか」や、「学ぶこととはどのようなことか」といった根本問題を、まずは理解していることが必要です。そうした前提をふまえずに、たとえばプラトンの思想などについて詳細に説明できても意味はありません。課題で言及されている人物や事柄について知っていることは有益ですが、たとえ何も知らなくとも、問われている課題について深い思考ができなければなりません。そのためには、課題図書をただ読むだけでなく、そこに出てくる用語などを調べ、理解を深めておくことが必要です。

②面接試験

哲学科への志望理由や、入学後の学生生活への抱負などを、明確に説明することが求められます。また、哲学・美学におけるトピックに関する問題についてどう思うか、いくつか問われる時があります。その場合も、とくに固有名詞などに詳しくある必要はなく、問題の所在を把握しているかどうかと、そこから論理的に自分なりの意見形成ができているかどうかと問われます。朗らかかどうかといった、一般的な面接試験で求められる外向的な要素はあまり重視しません。

神道文化学部

① 筆記試験 (60分)

神道と宗教に関する総合問題を出題する。

試験日：令和7年10月19日(日)

試験会場：渋谷キャンパス

集合時刻：9:30 試験開始時刻：10:00

② 面接試験 (約20分)

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

神道文化学部 「選考のポイント」

①筆記試験

筆記試験では、神道・宗教に関する知識や読解・思考力・表現力を問います。課題図書の内容を理解できるまで、何度もよく読んでください。参考図書もよく読んで、神道・宗教に関する理解を深めてください。

なお、課題図書は、自分の興味がある箇所だけでなく、指定された範囲全体を熟読してください。

《課題図書》

- ・國學院大學神道文化学部編『プレステップ神道学〈第2版〉』（弘文堂、2023）（範囲：第4章～第9章）
- ・石井研士著『プレステップ宗教学〈第3版〉』（弘文堂、2020）（範囲：第1章～第12章）

《参考図書》

- ・國學院大學日本文化研究所編『神道事典（縮刷版）』（弘文堂、1999）
- ・岡田莊司・小林宣彦編『日本神道史（増補新版）』（吉川弘文館、2021）

②面接試験

大学で学修や研究したい内容について具体的に質問します。関連する図書などを読み、はっきりした口調で明確に答えられるようにしましょう。なお、毎年、コミック本・SF本等によりイメージ化された神主・巫女等に興味をもって受験する方がいますが、課題図書以外に専門的な図書を1冊も読まず、漠然とした知識を持つだけでは適格者とは認められませんので、注意してください。神道文化学部で学修・研究するにふさわしい人物であることをアピールしてください。

実践的神職養成特別コースについて

神道文化学部では、卒業後に神社の神職として社会貢献を果たすことを志望する、神社実習生などの学生のため、「実践的神職養成特別コース」を設けます。このコースを受講する学生は、夜間時間帯に開講された必修科目と、特別クラスの神社祭祀演習（祭式授業。一部）および3・4年次の基幹演習（ゼミ）を履修することで、志望を実現するための学びがしやすい環境を整えることができます。

申込方法（入学前に手続）等の詳細は、合格者を対象に案内します。

法 学 部

[法律学科（法律専攻・政治専攻）]

① 自己アピール（5～10分）

いかに自分が國學院大學法学部で学ぶ意欲を有しているか、そして入学に値する人物であるかを口頭でアピールする。

② 面接試験（約20分）

第2次出願の際に提出したレポートやエントリーシート、また自己アピールの内容等に関する質問に回答する。

※レポートを作成する際に利用したコンピュータや文献等は、すべて会場に持ち込むことができます。なお、電源や投影用のプロジェクター・スクリーン等は提供できませんのでご注意ください。

◎ 第1次選考合格者は、第2次出願〔10月6日（月）～10月10日（金）消印有効〕の際に、入学検定料振込確認票の他に、次の(1)・(2)の書類を提出する必要があります。

(1) エントリーシート【様式5-法】

「志願理由について」、「あなた自身のことについて」、「社会への関心」という3つの項目につき、所定の形式に従って記入してください。

(2) レポート〔ALT（アカデミック・リテラシー・テスト）型レポート〕
(1,600字以上2,200字以内) 【様式6】

《レポート作成の注意事項》

★ 【様式6】に手書きで記入してください。パソコン等を利用して作成する場合には、A4サイズ用の紙に40文字×40行でプリントアウトし、【様式6】を表紙として本文以外の箇所を記入し、1枚目に付けて提出してください。なお、表題をつける必要はありません。

★ レポートを作成するにあたり参照した文献名やウェブページのURL等は、【様式6】の「注（参考文献）」にリストアップしてください。

★ レポート等は、第2次選考の面接の際に必要となりますので、必ずコピーなどを手元に残し、試験当日に持参するようにしてください。

【ALT（アカデミック・リテラシー・テスト）型レポート課題】

日本の地域公共交通（路線バス・地方鉄道・タクシー・オンデマンド交通等）は、多くの地域で人口減少や高齢化が進んでいることもあり、さまざまな課題に直面しています。日本の地域公共交通が直面する課題を解決するためにどのような取り組みを実施すべきかについて、あなたの意見（提言）をまとめたレポートを作成してください。レポートは、以下の1から3の順に従って構成してください。また、レポートの総文字数は、1,600字以上2,200字以内とします。

1. 日本の地域公共交通が置かれている現状について、以下の【参考となる文献①】に掲げた文献等の記述内容を踏まえ、説明してください。説明に際しては、特に、それが自家用自動車を保有しない人や運転免許を持たない人に与える影響についても、併せて言及してください。

【参考となる文献①】

- ・宇都宮浄人『地域再生の戦略―「交通まちづくり」というアプローチ』（ちくま新書・2015年）（第1章・第2章）
- ・宿利正史・軸丸真二編『地域公共交通政策論（第2版）』（東京大学出版会・2024年）（第1章・第2章）
- ・国土交通省「地域の公共交通を取り巻く現状と検討の視点・課題」
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/content/001728295.pdf>
- ・交通政策白書（令和5年版）第II部（73～88頁）
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/content/001613614.pdf>

2. 欧州も、日本と同様、人口減少と高齢化の進行という悩みを抱えるなかで、地域公共交通の再生に向けた様々な取り組みをしています。その代表例として、オーストリアのフォアアルベルク（Vorarlberg）州でどのような取り組みがされているか、以下の【参考となる文献②】に掲げた文献等の記述内容を踏まえ、説明してください。

【参考となる文献②】

- ・宇都宮浄人・柴山多佳兒『持続可能な交通まちづくり―欧州の実践に学ぶ』（ちくま新書・2024年）（特に第2章・第3章）

3. 欧州と日本では、地域公共交通政策に関してどのような違いが見受けられるかを対比して説明してください。両者の対比を踏まえたうえで、日本の地域公共交通が直面する課題を解決するためにどのような取り組みを実施すべきか、あなたの意見（提言）を述べてください。その際には、あなたの提言を実施するにあたりどのような課題（障害）が発生しうるかを想定したうえで、それに対処する策についても言及してください。なお、これらについて記述するには、以下の【参考となる文献③】に掲げた文献等が参考になります。

【参考となる文献③】

- ・宇都宮浄人『地域再生の戦略―「交通まちづくり」というアプローチ』（ちくま新書・2015年）
- ・宿利正史・軸丸真二編『地域公共交通政策論（第2版）』（東京大学出版会・2024年）
- ・宇都宮浄人・柴山多佳児『持続可能な交通まちづくり―欧州の実践に学ぶ』（ちくま新書・2024年）
- ・朝日新聞：「(Sunday World Economy) ローカル線『公』が支える欧州」2021年10月3日付朝刊4頁（東京本社）
- ・朝日新聞：「欧州、赤字の鉄道も公的支援で維持『公共交通』の意識に違い」
<https://www.asahi.com/articles/ASPB10S31P9YPLFA00N.html>

法学部 「選考のポイント」

①エントリーシート

志願理由や自己推薦理由を、限られたスペースに要領よくまとめる必要があります。自分は何のために大学で法律や政治を勉強したいのか、自分について評価してほしいところなどを、じっくりと考えて明確にし、読み手に的確に伝えられるように記述しましょう。

②レポート：ALT（アカデミック・リテラシー・テスト）型レポート

ALT型レポートでは、(1)文献等を正確に読めるか、(2)収集した情報を一定の基準に従って整理・分類できるか、(3)整理・分類した情報をテーマに則して的確に分析できるか、(4)分析結果に基づいて論理的に結論を導き出し、明確に表現できるか、という4点が重要になってきます。

とはいえ、最初から完璧主義を貫こうとすると挫折しやすいので、ある程度文献を収集した段階で、ひとまず書いてみることをお勧めします。その後、第三者の視点で欠陥を発見し、文献をもう一度読み直したり、書いた文章を修正したりするプロセスを繰り返し、完成度を高めていくとよいと思います。

③自己アピール

自己アピールは、エントリーシートで記述した自己推薦理由などを口頭で説明するものです。5分以上10分以内と時間が限られていますので、要領よく、しかし説得力のあるアピールをすることが肝要です。もっともアピールすべきことは、「あなた自身がいかに國學院大學法学部で学ぶ意欲を有しているか、そして入学に値する人物であるか」です（たとえば、國學院大學の校風を延々と述べても評価が高くなるわけではありません）。それから、プレゼンテーションの方法を工夫することも大事です。コンピュータ、AV機器、フリップなどの使用は、うまくいけば、より効果的なアピールに繋がりますが、必ずそうしなければならぬわけではありません。まずは自分のアピールしたい内容をしっかりと決め、それとのバランスを考えて方法を選択した方がよいでしょう。

④面接試験

面接試験では、自己アピールや、提出したレポートなどについての質問を受けることになります。レポートの内容について疑問と思われる点、レポートに書かれていないけれど重要な点、関連する事項についての補足的な説明を求められます。それらに適切に答えるためには、提出した後も、テーマについて継続的に情報を収集し、自分のレポートを見直しておくことが大切です。そして、書いていたときには気づかなかった問題点を発見したり、提出後に新たな事態が生じて事情が違ってきている場合などには、速やかにその点を補足、訂正しておくことが重要です。

経済学部

[経済学科・経営学科]

① 総合問題試験（90分、全体で1,000～1,500字程度）

試験日：令和7年10月19日（日）

試験会場：渋谷キャンパス

② 面接試験（約20分）

エントリーシート（項目7の記述内容に関する発表を含む）に関する内容について質問する。なお、発表に際して、資料等の持ち込みは認めない。

- ◎ 第1次選考合格者は、第2次出願〔10月6日（月）～10月10日（金）消印有効〕の際に、入学検定料振込確認票の他に、次の書類を提出する必要があります。

エントリーシート【様式5－経済】

以下の7項目について、所定の書式にしたがって書いてください。

- (1) 高校の授業の中で印象に残ったことについて書いてください。
- (2) (1)以外に高校生活で身につけたアピールできること（資格・特技など）について書いてください。
- (3) 本学を知ったきっかけを書いてください。
- (4) 経済学部および選んだ学科を志望した理由を書いてください。
- (5) 大学生活における目標と卒業後の進路について書いてください。
- (6) (4)(5)を踏まえて残りの高校生活で何をすべきか考えたことを書いてください。
- (7) 経済・経営に関して、あなたの関心のあるトピックスを自分の見解を含めて、800字程度で記述してください。なお、参考文献、参考URLを1つ以上載せること。

経済学部 「選考のポイント」

①総合問題試験

総合問題試験では、経済・経営現象に関する文章をその場で読解し、その文章に対する設問に解答する論述試験が行われます。本試験で測ろうとしている適性は主に以下の4点です。

1. 文章中の論理を正確に理解し読み解く能力
2. 数表やグラフなどの読解・解釈能力
3. 理解した内容を正確な文章で論述できる能力
4. 日常的な経済・経営現象への興味・関心

②エントリーシート・面接試験について

面接試験はエントリーシートの内容に基づいて行われます。高校時代にどのようなことを学習し、関心を抱いてきたのか、大学でどのようなことを成し遂げたいのか、なぜ本学部の当該学科を志望するのか。エントリーシートの各項目は、ばらばらに論じるのではなく、それぞれがどのように関連しているのかを意識して記入してください。

エントリーシートは面接試験における問いかけの起点となるものですので、枠いっぱい詳細に書くというよりも、ポイントを絞ってわかりやすく書くことを心がけてください。目安は各項目5行程度とするとよいでしょう。

人間開発学部

【初等教育学科・健康体育学科・子ども支援学科】

- ① 小論文試験（90分、1,000字程度）
- ② 【初等教育学科・健康体育学科】面接試験（約15分）

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

【子ども支援学科】面接試験および口頭試問（約20分）

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接、および口頭試問（下記参照）を行う。

<口頭試問の内容について>

- ①大学が用意した絵本3冊の中から、1冊を選び黙読する。
- ②選んだ絵本等に関しての口頭試問を行う。

※絵本は、公益社団法人全国学校図書館協議会第28回（2016）「よい絵本」のリストから、大学が3冊選書する。

- ◎ 第1次選考合格者は、第2次出願〔10月6日（月）～10月10日（金）消印有効〕の際に、入学検定料振込確認票の他に、次の（1）・（2）の書類を提出する必要があります。

- （1）エントリーシート【様式5－人間開発】
- （2）活動報告書および添付資料【様式7・8】

これまでに自らが行ってきた活動等で活躍や努力したものについて、その内容を記入してください（活動が団体によるものである場合は、本人の役割を明確にしてください）。

資格取得や検定試験合格、あるいはスポーツなどで顕著な成績を有している場合には、添付資料目録に記載し、必ず証明書等のコピーを添付すること。

人間開発学部 「選考のポイント」

人間開発学部としては、「人間の能力開花、開拓」に関心があり、「幼稚園教諭・保育士、小学校教諭、中学校・高等学校の保健体育教諭、あるいは健康やスポーツ分野のリーダーになりたい」という強い意欲を持つ人に入学してほしいと考えています。「人間開発」という言葉には、さまざまなストレスやプレッシャーなどにより閉じられたままになっている能力や才能を「弾ける」「^{はじ}拓く」「^{ひろ}拡がる」ように引き出し、「開花させる」という意味が込められています。それゆえ生徒や指導の対象となる人の「頑張ることを応援する教育」に向けて積極的に勉強する人の意欲を評価したいと思います。

第2次選考においては、小論文試験と面接試験を行います。

小論文試験では、短時間で説明を理解する必要があります。さらに作成に当たっては、「論理的な道筋を立てた内容とすること」「読む人にわかりやすく伝わる文章にすること」に留意してください。

面接試験では、特に本学部・学科への志向性を問います。学生生活、卒業後の進路について、今後の展望を持っていることが望ましいでしょう。

子ども支援学科の口頭試問では、絵本の読み聞かせは行いません。大学で用意した絵本の中から受験生が1冊を選びます。その絵本を通して子どもたちに伝えたいことを、これまでの絵本の経験に基づいて回答できることが望ましいです。

[観光まちづくり学科]

① 面接試験 (約20分)

コピーした解決策提案シートを提示しながら、その内容について5分で説明すること(解決策提案シート以外のものは用いないこと)。その後、解決策提案シート、地域分析レポート、志望理由書、活動レポート、調査書に基づく質疑を行う。

◎ 第1次選考合格者は、第2次出願〔10月6日(月)～10月10日(金)消印有効〕の際に、入学検定料振込確認票の他に、次の(1)・(2)の書類を提出する必要があります。

(1) 地域分析レポート (1,200字以内) 【様式6】

あなたが住んでいる地域やゆかりのある地域を選び、その地域の資源(文化、生活様式、景観、自然、生きもの、産業、伝統行事、イベント、教育、コミュニティ等)を挙げ、そうした資源がどのような魅力及び価値を持っているかについて、根拠を示しながら簡潔に記述すること。また、選んだ地域や資源が今後も持続可能であり続けるためには、どのような課題があるかについて、根拠を示しながら簡潔に記述すること。なお、この地域分析レポートに20字以内のタイトルを付け、キーワードを3つ示し、主要な参考文献を最大5件まで明示すること(参考文献欄に記入すること)。ただし、タイトル・キーワード・参考文献の部分は本文1,200字に含めないものとする。

(2) 解決策提案シート (A3サイズ用紙・片面・1枚)

地域分析レポートを踏まえて自ら解決策を構想し、A3サイズ用紙1枚を用いてわかりやすく表現すること。表現形式は問わないが、半分(A4サイズ)に折りたたんで出願すること。なお、この解決策提案シートに20字以内のタイトルを付けること。自作も含めて図表や写真等を使用してもよい。引用する場合は出典を明らかにすること。余白に氏名を記入すること。

なお、(1)(2)の書類は原本を送付し、コピーを手元に残しておくこと。

観光まちづくり学部 「選考のポイント」

①地域分析レポート

対象地域を選んだ理由や、その地域と自分自身との関係性を明示することがまず大切です。例示した資源に限らず、地域の資源をどのように捉えているか、及び、そうした資源が持つ魅力と価値について、具体的な資料や参考文献を挙げながら明確に指摘できることが大切です。また、選んだ地域や資源の持続可能性にどのような問題意識を持っているか、そうした問題意識を背景に、地域の課題をどのように認識しているか、多面的にかつ深く検討できているか、根拠を示しながら論理的に指摘できているかも重視します。

さらに、20字以内のタイトルから、全体を俯瞰する力、要点を適切に捉える力、切り取る力も評価します。また、参考文献を過不足なく明示できる客観性と、学びの足跡も評価の対象とします。

②解決策提案シート

提案した解決策について、A3サイズ用紙(片面)1枚という限られた条件の中で、どのように表現したかが評価の重要なポイントになります。表現形式は問いませんので、論理的で独創性に富んだ提案を求めます。

また、20字以内のタイトルで、全体を俯瞰する力、要点を適切に捉える力、切り取る力も評価します。なお、出典を明らかにしつつ客観的に引用できる力、さらには、図表や写真等を自作し情報をわかりやすく表現する力も評価の対象になります。

③面接試験

面接試験では、解決策提案シートの内容を限られた時間で、論理的かつ独創的にアピールできる表現力を評価の主な対象とします。その上で、提出した書類を基に質疑を行い、的確に回答できるかも評価の対象となります。

6. 受験上の配慮について

身体等の障がいや病気・負傷により受験配慮を希望する者に対して、申請内容に基づき審査の上、症状や状態等に応じた受験上の配慮を行います。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。

また、許可された内容については入学後の配慮を確約するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

申請期限を過ぎての申請は受け付けることができませんので、必ず期間内に申請をお願いいたします。ただし、申請期限後に不慮の事故や急な発病により受験上の配慮が必要になった場合に限り、速やかに本学入学課まで問い合わせください。

【受験上の配慮事例】

区分	配慮事項
視覚障がい	点字文字冊子・解答用紙の配付/拡大問題冊子・解答用紙の配付/試験時間の延長/リーディングルーラーの使用/定規の使用（文章を読む際の補助具）/拡大鏡の使用
聴覚障がい	注意事項等の文書による伝達/座席を前列に指定/補聴器又は人工内耳の装用/開始と終了の合図/面接試験での文字化
肢体不自由	チェック解答/試験時間の延長/1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験/車椅子、杖の持参使用/多目的トイレの使用
病弱	別室受験/試験教室入口までの付添者の同伴/座席配慮/デジタル耳栓（通信機能なし）の使用/保護者が待機
発達障がい	別室受験/試験時間の延長/拡大問題冊子・解答用紙の配付/チェック解答/自己マッサージ/試験中のストレッチ
その他	薬の服用・インスリンポンプの使用・喘息用の小型吸入器の使用、またそれらの机上常備/イヤーマフの使用/耳栓の使用

※別室受験については、原則個室ではありません。

※申請方法：必要事項を大学ホームページ（受験上の配慮申請について（令和8年度入学試験受験者用））より入力し、入学課に出願する30日前までに申請してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/p2/p6>



申請方法
(大学HP)

7. 第1次出願書類

出願期間

令和7年9月1日(月)～9月5日(金)

消印有効

第1次出願に必要な書類を全てそろえ、本学所定の出願用封筒ラベルを使用し、**速達・簡易書留**で入学課宛に送付してください。一度提出した書類は、返しませんので、ご注意ください。

【注意1】 ①～⑤を順番に並べたうえで提出してください。なお、記入の際はボールペンを使用してください(鉛筆書き不可)。

【注意2】 入学志願票(および写真票)・様式1～3・Bは志願者本人が、様式Aは「本学卒業(修了)者」または「関係法人の現職専任教職員等」が作成してください。

<p>① 入学志願票 【本学所定用紙】</p>	<p>「入学志願票記入例」(P.30～31)を参考に記入してください。なお、入学検定料を振込む必要はありません。志願票・写真票は切り離さずに提出してください(振込依頼書・振込金兼手数料受取書を提出する必要はありません)。</p>	
<p>② 出願資格・要件に関する書類</p> <p>①・②は出願者全員が提出すること(出願3カ月以内に発行された書類を提出)。</p> <p>③は文学部外国語文化学科、神道文化学部、経済学部に出願する者のみ提出すること。</p>	<p>① 関係を証明する書類(戸籍抄本等)</p>	
	<p>・戸籍抄本等</p>	<p>公的機関から発行された、志願者と本学の卒業(修了)者または、関係法人の現職専任教職員等との関係(二親等以内)を確認することのできる書類・証明書を提出してください。</p>
	<p>・出願資格確認書(本学様式A)</p>	<p>出願資格を確認するための書類です。該当項目を全て記入のうえ、提出してください。 ※必ず「本学卒業(修了)者」または「関係法人の現職専任教職員等」が作成してください。 【1】「志願者」欄 二親等以内の親族(志願者)の志願先学部・学科および氏名を記入してください。 【2】「院友」欄 氏名・連絡先等の該当箇所を記入してください。 ※卒業(修了)者の場合は、最終学歴を記入してください。 ※関係法人の専任教職員は、必ず「在職証明書」(各校所定用紙)を提出してください。 ※やむを得ない事由(物故等)で、代筆により提出する場合は、必要事項と合わせて「代筆理由」を明記してください。 ※卒期がわからない場合は、空欄でもかまいません。</p>
	<p>② 出願資格を証明する書類</p>	
	<p>高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校を卒業した者、および令和8年3月卒業見込みの者</p>	<p>出身(在籍)学校長が発行した「調査書」(学校所定用紙、開封無効) 既卒生の場合、卒業後に発行されたもので可(卒業見込で発行されたものは不可)。 卒業後5年以上経過などの理由により、調査書が発行できない場合は「卒業証明書」を提出すること。</p>
	<p>高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定の合格者・合格見込みの者</p>	<p>「合格証明書」 (合格見込者は「合格見込成績証明書」)</p>
	<p>外国における12年の課程を修了した者又は修了見込みの者</p>	<p>「修了(見込)証明書」と「成績証明書」 ※日本と外国両方の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校在学中の「調査書」も合わせて提出してください。</p>
	<p>その他、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた場合</p>	<p>関係する証明書等を提出してください。 なお、必要な証明書については本学入学課(03-5466-0141)へお問い合わせください。</p>
	<p>③ 出願資格を証明する書類(資格・スコアを証明する書類)【様式B】</p>	
	<p>資格・スコアを証明する書類(本学様式B)</p>	<p>所定欄に必要な事項を記入し、資格・スコアを証明する書類を裏面に貼付してください。本学では実用英語技能検定(英検)およびTEAPにおいて日本英語検定協会が提供する成績ダウンロードシステムを利用します。</p>

<p>③ 志望理由書 【様式1】</p>	<p>大学での勉学・研究に対する目的意識と意欲を1,000字程度で記入してください。</p>
<p>④ 課題図書に基づく レポート 【様式2】</p>	<p>課題図書（P.14参照）を読み、レポートを作成してください。</p>
<p>⑤ 活動レポート・ 添付資料目録 および添付資料 【様式3】</p>	<p>【文・神道文化・経済・観光まちづくり学部のみ】 学内外問わず、過去3年間程度で主体的に取り組んだ活動を1つ選び、800字以内で記入してください（活動が団体によるものである場合は、本人の役割を明確にしてください）。</p> <p>添付資料目録について【神道文化・経済・観光まちづくり学部のみ】 「活動レポート」に関連する資料を添付する場合は、資料に番号・資料名をつけ、目録を作成してください。添付資料がない場合も、「添付資料の有無」欄の無に丸を付けてください。添付資料は5点以内とし、可能な限りA4サイズに統一してください（コピーの難しいものはA4サイズ用の紙に貼付してください）。ホチキス留めのできない資料を添付する場合には、資料番号を明記の上同封してください。なお、提出された添付資料は返却できません。</p> <p>《添付資料例》 創作や研究発表を掲載した雑誌・新聞の切り抜き、写真、活動の成果や記録（A4）など。なお、必ずしも正式なものである必要はありません。</p>

英語検定試験のスコア・級数について

本入試制度で文学部外国語文化学科、経済学部経済学科・経営学科において出願資格としている「CEFR A2以上」の基準値は以下のスコアを参考値とします。また、神道文化学部で出願要件としている英語検定試験の基準値（CEFRレベルに対照可能なものに限る）は以下のスコアを参考値としますが、スコアレベル不問とします。スコア・級は令和5年4月1日以降に取得したものを有効とします。

CEFR ※1	各検定のスコア							
	実用英語技能検定 (英検)※2	TOEIC® L&R およびS&W※3	GTEC※4	TEAP (R/L+W/S)※5	TEAP CBT ※5	ケンブリッジ 英語検定※6	TOEFL iBT® ※7	IELTS※7 (アカデミック・ モジュール)
C2						230 200	120 114	9.0 8.5
C1	3299	1390	1400	400	800	199	113	8.0
	2600							
B2	2599	1300	1349	374	795	179	94	6.5
	2300							
B1	2299	1090	1179	308	595	159	71	5.0
	1950							
A2	1949	785	929	224	415	139	42	4.0
	1700							

※1 各検定試験の証明書に記載される、4技能（Reading, Listening, Writing, Speaking）総合でのCEFRレベルを指します。4技能総合CEFRが判定されていない場合は、スコアの利用はできません。

※2 従来型・新方式（S-CBT, S-Interview）いずれも可。上表に示すCEFRレベルを満たしていれば、合否は問いません。ただし、取得したCSEスコアが受験級においてCEFR算出外となる場合は、スコアの利用はできません。

※3 TOEIC®はL&RおよびS&W両試験の受験およびスコアが必須となります。また、TOEIC IPは不可とします。

※4 GTECは受験年度により、同一のスコアでも証明書記載のCEFRレベルが異なる場合があります。GTECの成績を利用する場合は、証明書記載のCEFRレベルにかかわらず、4技能合計スコアに基づいて出願可否の判断および選考を行います。なお、オフィシャルスコアのみ利用可とし、検定版はCore,Basic,Advancedいずれも可とします。

※5 TEAPは異なる試験日のスコアを合算できません。

※6 ケンブリッジ英語検定4技能CBT（Linguaskill）は不可とします。

※7 自宅受験形式は不可とします。また、B1以上のスコアを持つ場合のみ出願可とします。

スコアの利用に際しては、下表に示す成績表を必ず提出してください。下表にないもの（web上での結果通知画面のスクリーンショット等）は成績の証明として認められません。

検定試験名	成績表
実用英語技能検定（英検）※1	合格証明書・デジタル証明書※2 CSEスコア証明書または個人成績表のいずれか
TOEIC® L&RおよびS&W	Official Score Certificate
GTEC（検定版またはCBT）	Official Score Certificate
TEAP(R/L+W/S)※1	成績表
TEAP CBT ※1	成績表
ケンブリッジ英語検定	合格証明書
TOEFL iBT®	Examinee Score Report, Official Score Reports (Institutional Score Report) のいずれか※3
IELTS（アカデミック・モジュール）	Test Report Form※4

<成績表の提出について>

*1は成績ダウンロードシステムを使用するため、提出する証明書類の原本・コピーは問いません。そのほかの検定試験の証明書類は、原本または原本証明がなされたコピーのみ受け付けます。

試験実施団体のシステムに登録されている志願者の生年月日に誤りがある場合、大学側で成績のダウンロードができず、受験が認められない場合があります。正しい生年月日が登録されているか出願前に必ず確認してください。

生年月日の確認・訂正方法で不明な点がある場合は、試験実施団体（英検サービスセンター）にお問い合わせください。本学での対応はできません。

【生年月日の確認方法について】

「従来型英検」、「英検S-Interview」の成績を大学に提出予定の方は、「受験者用ログインサービス」から英検IDとパスワードでログインしていただき「個人情報の確認・変更」からご確認ください。

「英検 S-CBT」の成績を大学に提出予定の方は、個人成績表でご確認ください。

【生年月日の訂正方法について】

受験いただいた試験方式別に以下のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

※参考URL：<https://www.eiken.or.jp/eiken/nyushi/forstudents/faq.html>

*2はプレビュー画面をプリントアウトしたものの提出を受け付けます。

*3 TOEFL iBT[®]のOfficial Score Reports (Institutional Score Report)は、ETSより本学へ直送の手続きを行う必要があります。Institution Code はC803、Department Code は00です。

*4 IELTS のTest Report Form について、テストセンターからの直送制度を利用する場合、送付先の機関名をKokugakuin University、担当部署をAdmissions Officeとし、渋谷キャンパス宛に郵便での送付を依頼してください。

8. 入学志願票記入例 ※写真票もこれにならって記入してください。

記入例は、経済学科を選択した場合のものですが、他の学科を選択した場合もこれにならい、ボールペンを使用して各票の太枠内を漏れなく記入してください。網かけされている欄は未記入のままで結構です。
 なお、提出後の変更は一切認められませんので、ご注意ください。

★第1次出願時には、入学検定料を振込む必要はありません。

(振込依頼書・振込金兼手数料受取書は提出する必要がありませんので、切り取ってください)

★写真票には写真(縦4cm×横3cm)を必ず貼付してください。

★記入を間違えた場合は修正液(ホワイト)を使用しても問題ありません。

★一度提出した書類等は返還しません。

志願票

國學院大學(総合型選抜・学校推薦型選抜)入学志願票

入試制度											
出願する試験制度の番号に○を付け、必要事項を記入してください。											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
公募(AO)	スポーツ	指定校	全商協会	社会人	神道・宗教	神職養成	神道学専攻科	学士	一般編入		
【日本語・中国文・神道文化学科のみ】 「志望コード」を記入してください。											
志望コード		活動コード		出願方法		外国人留学生		系列校(選抜推薦)		系列編入	
コード		イ ロ ハ		1: 神道 2: 宗教 (A)(B)		*		*			
コード		イ ロ ハ		* *							
↓記入例に従って該当欄に記入してください(選択項目には該当する番号に○を付けてください)。											
志願データ											
受験番号						※					
入試コード						※					
M I 3 A											
学部						経済					
学科						経済					
専攻(専攻科・別科)											
フリガナ						ワカキ ショウ					
氏名						姓 若木 名 翔					
性別						1 男 2 女					
生年月日						20071104					
自宅電話						045-XXXX-XXXX					
携帯電話						080-XXXX-XXXX					
神奈川県						横浜市青葉区新石川3-22-1					
都道府県						若木ヒルス 101					
〒						225-0003					
メールアドレス						kokugakuin@xxx.xx					
出身高等学校等						國學院					
高等学校等コード						13550A					
課程						I					
学科						I					
卒業年(西暦)						2026					
月						03					
出身大学(短大)・学部・学科											
卒業年(西暦)											
月											
入学検定料(振込金額)						¥					

- ボールペンを使用して記入してください。間違えた場合は修正液を使用しても問題ありません。但し、入学検定料(振込金額)を訂正する場合は、二重線で消し、その上に銀行で訂正印を押してもらい、欄外に正しい金額を記入してください。
- 濁点なども1文字として楷書で記入してください。
- 振込金額は、入試制度によって異なりますので、必ず要項をご確認ください。
- ATMからの振り込みはできません。必ず銀行等金融機関の窓口で手続を行ってください。
- 取扱店の収納印が無いものは無効です。

個人情報取り扱い確認欄	
個人情報の取り扱いに関する「振込金兼手数料受取書(本人保存)」の記載を読み、同意しない場合のみ、✓を記入してください。	同意 <input type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/>



2026

(1) 記入上の注意

- ①出願する入試制度に○をつけてください。
- ②各種コード一覧を参照し、入試コード・学部・学科を記入してください。専攻欄は法学部のみ記入してください。
- ③調査書、その他出願に必要な書類の氏名欄は、住民票に記載されている本名または通称名にて統一してください。
- ④濁点・半濁点も1文字として記入してください。
- ⑤生年月日・卒業年月は必ず西暦で記入し、月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を入れ、2桁で記入してください。
- ⑥住所は受験番号通知書等の送付先となるので、アパート・マンション名まで正確に記入してください(丁目・番地・号は「-」で記入してください)。
- ⑦電話番号(日中連絡のとれるもの)は、市外局番・局番・加入者番号それぞれの間を「-」で区切って記入してください。
- ⑧メールアドレスは正確に記入してください。また、文字の判別がしやすいように、適宜フリガナ等で補足してください(例:アルファベットのO<オー>と数字の0<ゼロ>など)。

(2) 各種コード一覧

学部	学科	専攻	入試コード
文	日本文	-	M11A
	中国文	-	M11E
	外国語文化	-	M11F
	史	-	M11B
	哲	-	M11D
神道文化	神道文化	-	M14A
法	法律	法律	M12A
		政治	M12C
経済	経済	-	M13A
	経営	-	M13C
人間開発	初等教育	-	M15A
	健康体育	-	M15B
	子ども支援	-	M15C
観光まちづくり	観光まちづくり	-	M16A

高等学校等コード

高等学校等の進路指導部へお問い合わせください。
※大学入試センターのコードと同様です。

課程コード

課程	全日制	定時制	通信制	その他
コード	1	2	3	9

学科コード

学科	普通	商業	工業	農業	英語	総合	その他
コード	1	2	3	4	5	6	9

9. 学費等納付金

学費等納付金について（令和7年度参考）

（単位：円）

	文学部	経済学部	法学部	神道文化学部	人間開発学部	観光まちづくり学部
入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
授業料	830,000	830,000	830,000	830,000	850,000	800,000
施設設備費	210,000	210,000	210,000	210,000	250,000	250,000
維持運営費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
諸費	25,300	27,300	28,300	25,300	25,300	25,300
初年度合計	1,315,300	1,317,300	1,318,300	1,315,300	1,375,300	1,325,300

前期分（入学時）	795,300	797,300	798,300	795,300	825,300	800,300
後期分（入学後）	520,000	520,000	520,000	520,000	550,000	525,000

- 備考
1. 中国文学部は、上記文学部の金額に中国学生会費2,000円が加算されます。
 2. 入学後、履修する授業によっては、別途費用がかかる場合があります。
 3. 後期分以降の学費等納付金の納付につきましては、口座振替となります。詳細については入学後にご案内します。
 4. 上記は令和7年度学費等納付金です。令和8年度学費等納付金については変更となる場合があります。

【國學院大學教育充実資金（維持費）についてのお願い】

本学教学内容の維持・充実をはかるため、在学生の保証人（ご父母）各位に國學院大學教育充実資金（1口5万円）のご寄付をお願いしております。入学後の4月にご案内をいたしますので、ぜひ1口以上のご協力をお願い申し上げます。

※本学では入学前（3月まで）の募金活動は行っていません。

10. 入学前学習講座

國學院大學では、総合型選抜・学校推薦型選抜入学試験による入学者を対象に、合格発表から入学までの期間で「入学前学習講座」を実施しております。

この講座では、早期に実施される総合型選抜・学校推薦型選抜入学試験から入学までの期間において、学修機会を設けることで、入学後の学修がスムーズなものとなるよう実施しております。受講される場合は受講料を別途ご納入いただくこととはなりますが、本講座の趣旨をご理解いただき、積極的な受講をいただくようお願い申し上げます。

なお、申し込み方法等の詳細については、合格発表時にご案内いたします。

1. 実施期間：令和7年12月～令和8年3月
2. 内容：全学部共通講座・各学科指定課題（予定）

※ペンまたはボールペンを使用し、自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

出願資格確認書				入試 コード	M	1																																																												
志願者	学部		フリガナ																																																															
	学科・専攻		氏名																																																															
院友会会員・専任教職員																																																																		
	フリガナ		旧姓		性別																																																													
	氏名				男・女																																																													
					生年月日																																																													
	志願者との関係 (続柄)		(西暦)	年	月	日																																																												
連絡先	現住所	〒	—	電話	自宅	—	—																																																											
		メールアドレス:	@		携帯	—	—																																																											
<p>■ 卒業（修了）者記入欄 ■</p> <table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>区分 ○を付けてください。</td> <td>A. 卒業生</td> <td>B. 修了者</td> <td>C. その他 ()</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>卒業学部・学科 修了した専攻等 ○を付けてください。</td> <td colspan="3"> 学部 学科 A. 大学院 (研究科) B. 神道学専攻科 C. 別科神道専修Ⅰ類 D. 別科神道専修Ⅱ類 E. その他 () </td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>卒業（修了）年・期</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>卒業・修了 (第 期)</td> </tr> </table> <p>■ 専任教職員記入欄 ■ ※関係法人の専任教職員は、必ず「在職証明書」(各校所定用紙)を提出してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>学校名</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>所属</td> <td colspan="7"></td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 代筆理由 <input type="checkbox"/></p> <table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代筆者</td> <td colspan="3"></td> <td>院友との続柄</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>志願者との続柄</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>									①	区分 ○を付けてください。	A. 卒業生	B. 修了者	C. その他 ()	②	卒業学部・学科 修了した専攻等 ○を付けてください。	学部 学科 A. 大学院 (研究科) B. 神道学専攻科 C. 別科神道専修Ⅰ類 D. 別科神道専修Ⅱ類 E. その他 ()			③	卒業（修了）年・期	年	月	卒業・修了 (第 期)	①	学校名								②	所属								理由								代筆者				院友との続柄								志願者との続柄				
①	区分 ○を付けてください。	A. 卒業生	B. 修了者	C. その他 ()																																																														
②	卒業学部・学科 修了した専攻等 ○を付けてください。	学部 学科 A. 大学院 (研究科) B. 神道学専攻科 C. 別科神道専修Ⅰ類 D. 別科神道専修Ⅱ類 E. その他 ()																																																																
③	卒業（修了）年・期	年	月	卒業・修了 (第 期)																																																														
①	学校名																																																																	
②	所属																																																																	
理由																																																																		
代筆者				院友との続柄																																																														
				志願者との続柄																																																														
<p>ご同意いただける場合は<input checked="" type="checkbox"/>をお願いします。</p> <p>本書記載の連絡先・氏名が最新の情報のため、本学が所持しているデータと相違がある場合、更新することを許可します。 <input type="checkbox"/></p>																																																																		

※大学確認欄 記入不要

校友課	人事課	

資格・スコアを証明する書類

※裏面に証明書を貼付（糊付け）してください。

入試コード				<大学使用欄>	
学部					
学科・専攻					
氏名					
生年月日	年			月	日
利用する 検定試験	<p>該当するものに○を付けてください。</p> <p>【英語検定試験】※</p> <p> <input type="checkbox"/> 実用英語技能検定（英検） <input type="checkbox"/> TOEIC®L&R および S&W <input type="checkbox"/> GTEC(検定版またはCBT) <input type="checkbox"/> TEAP (R/L+W/S) <input type="checkbox"/> TEAP CBT <input type="checkbox"/> ケンブリッジ英語検定 <input type="checkbox"/> TOEFL iBT® <input type="checkbox"/> IELTS（アカデミック・モジュール） </p> <p>【その他の検定試験】</p> <p>試験名称()</p> <p>試験名称()</p>				
受験年度			受験回		
個人番号 または受験番号					

↑太枠内は、実用英語技能検定試験およびTEAP利用者のみ記入してください。

【提出する証明書について】

実用英語技能検定試験およびTEAP利用者：

成績ダウンロードシステムを使用するため、提出する証明書類の原本・コピーは問いません。

※実用英語技能検定試験はデジタル証明書のプレビュー画面をプリントアウトしたもので
も提出可

その他の検定試験利用者：

原本または原本証明がなされたコピーのみ受け付けます。

原本証明がなされたコピーの作成手順は以下の通りです。

- i. 在籍学校が証明書の原本であることを確認し、コピーをとる（カラー・白黒は問いません）。
- ii. 証明書のコピーの余白に、「原本と相違ないことを証明する」旨の文言を記載の上、在籍学校の印または学校長の印を押印する。
- iii. 在籍学校が厳封（調査書と同封可）する。

※英語検定試験でCEFRレベルの証明として使用できるのは〔〕内の検定試験のみです。

この用紙は、文学部外国語文化学科、神道文化学部、経済学部経済学科・経営学科
出願者のみ提出してください。

※ペンまたはボールペンを使用し、自筆で
記入してください(鉛筆書き不可)。

▲600

▲800

▲1000

※ペンまたはボールペンを使用し、自筆で
記入してください(鉛筆書き不可)。

▲600

▲800

▲1000

※ペンまたはボールペンを使用し、自筆で
記入してください(鉛筆書き不可)。

(2)

200▲																				
400▲																				

※ペンまたはボールペンを使用し、自筆で
記入してください(鉛筆書き不可)。

▲600

▲800

▲1000

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

▲500																				
▲600																				
▲700																				
▲800																				

添付資料目録	添付資料の有無	有・無
--------	---------	-----

添付資料番号	資料名
1	
2	
3	
4	
5	

※添付資料がない場合は、「添付資料の有無」欄の無に丸を付けてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

<h1 style="margin: 0;">エントリーシート</h1>				入試 コード	M	1	2
法学部	法律専攻		フリガナ				
	政治専攻		氏名				

↑ 志願する専攻に○を付けてください。

志願理由について	<p>あなたが國學院大學法学部法律専攻または政治専攻を志願する理由を書いてください。</p> <p>*その際には、以下の3点を含ませてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたが法学や政治学を学ぶ目的 ・國學院大學法学部法律専攻または政治専攻があなたに適していると思った理由 ・法律専攻または政治専攻の授業にどのように取り組んでいこうと考えているか
----------	---

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

あなた自身のことについて	<p>あなた自身について、積極的に評価してほしいことを書いてください。 *これまで取り組んできた活動などの「具体的事実」、あなたや他人が捉えている「あなたの性格」などが一つのストーリーとして結びつけられている記述に挑戦してください。</p>
社会への関心	<p>あなたが現在（ALTレポートのテーマ以外に）最も関心を持っている社会的出来事を一点挙げ、それに関してどのようなことを調べ、現在どのような考えを持っているか、書いてください。</p>

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

エントリーシート				入試 コード	M	1	3
経済学部	経済学科		フリガナ				
	経営学科		氏名				

↑志願する学科に○を付けてください。

(1) 高校の授業の中で印象に残ったことについて書いてください。

(2) (1)以外に高校生活で身につけたアピールできること(資格・特技など)について書いてください。

(3) 本学を知ったきっかけを書いてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

(4) 経済学部および選んだ学科を志望した理由を書いてください。

(5) 大学生活における目標と卒業後の進路について書いてください。

(6) (4)(5)を踏まえて残りの高校生活で何をすべきか考えたことを書いてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

<h1>エントリーシート</h1>				入 試 コード	M	1	5
人間開発学部	初等教育学科		フリガナ				
	健康体育学科		氏 名				
	子ども支援学科						

↑ 志願する学科に○を付けてください。

あ な た の こ と	本学部・学科を志望した理由
	自分について最も評価してほしいところ（他人に誇れる性格、特技、経験など）
	最近気になっている社会問題とその理由

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

あなたのこと	継続的に取り組んできたと自信をもって言える活動とその期間
あなたが考えること	<p>「個性的」とはどういうことか</p> <p>社会に「人間開発」が必要であると思う理由</p>

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

▲600

▲800

▲1000

活動報告書			入試 コード	M	1	5
学 部	人間開発学部	フリガナ				
学 科		氏 名				

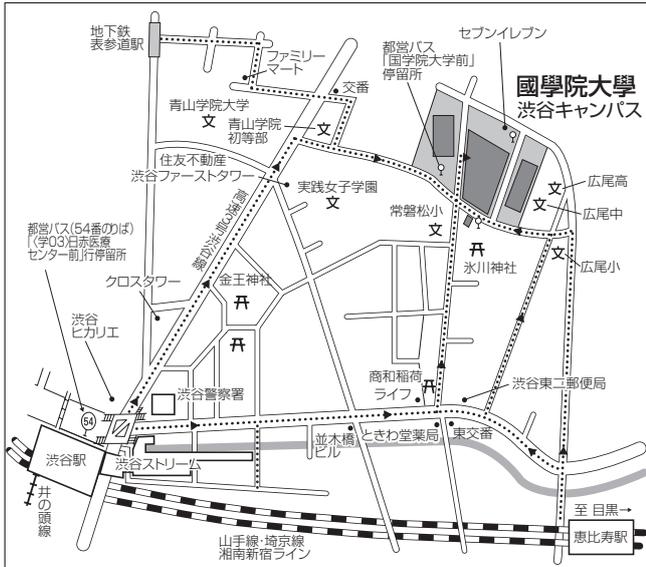
活動内容を具体的に記入してください（箇条書き可）。

添付資料目録			入試 コード	M	1	5
学 部	人間開発学部	フリガナ 氏 名	添付資料の 有無		有 ・ 無	
学 科						

添付資料 番号	資 料 名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

*添付資料が10点を超える場合はこの【様式8】をコピーして使用してください（P.22を参照）。

渋谷キャンパス 〈文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・専攻科・別科のメインキャンパス〉



＜所在地＞〒150-8440
東京都渋谷区東四丁目10-28

＜交通機関＞渋谷駅東口方面出口より徒歩約13分、
または、
渋谷駅東口バスターミナル(54番のりば)
より
都営バス〈学03系統〉「日赤医療センター前」行き(運賃 現金180円・IC178円)
「国学院大学前」下車

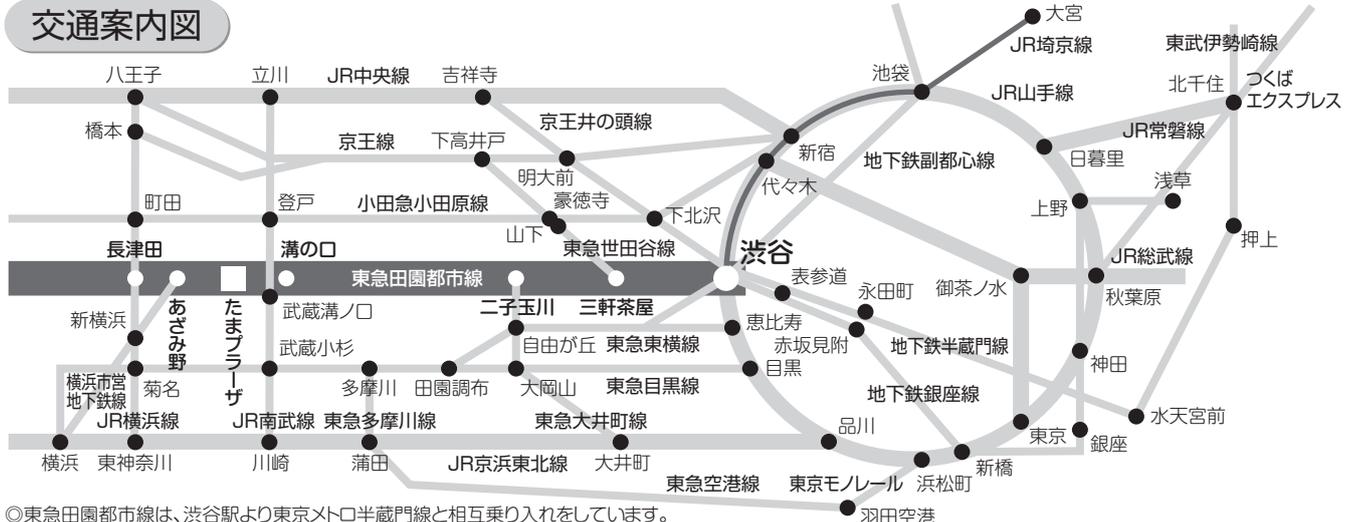
横浜たまプラーザキャンパス 〈人間開発学部・観光まちづくり学部のメインキャンパス〉



＜所在地＞〒225-0003
神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

＜交通機関＞渋谷駅より東急田園都市線(長津田・中央林間方面行き)にて約25分
(東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ)
たまプラーザ駅下車南口より徒歩約5分

交通案内図



◎東急田園都市線は、渋谷駅より東京メトロ半蔵門線と相互乗り入れをしています。

※本ページに記載されている情報は発行時のものです。変更される場合がありますので、ご自身で必ずご確認ください。

